

雨飾山 百名山雨飾山の紅葉を楽しむ

参加メンバー：4名（女性2名、男性2名）

日程 およびコースタイム

10月8日（金）晴れ

7:30 JR川西池田駅 →(マイカー)→ 16:20 雨飾高原キャンプ場着 テント泊

10月9日（土）小雨のち曇り時々晴れ

(歩行時間/距離 7時間30分/7.6km)

5:25 雨飾高原登山口 出発→8:55 雨飾山山頂

10:00 雨飾山山頂 出発→14:00 雨飾高原登山口着

10月10日（日）晴れ時々曇り

7:20 雨飾高原キャンプ場 →(マイカー)→大町・安曇野を経て18:30 川西池田着 解散

山行の概要

10月8日（金）川西池田駅を7時30分に出発、中国道工事閉鎖の為新名神川西ICから北陸道を経て雨飾高原キャンプ場へ向かう。時間的に余裕があったので途中ヒスイ海岸、親不知・子不知に寄った。親不知・子不知では梅海新道の登山口も確認、ここから朝日岳まで全長27km標高差2000mを超える（累積標高差は4000m近いと言われている）登山道に思いを馳せた。

10月9日（土）3時頃から雨が降り出した為登山の準備はして天候待ちをした。天気予報によると天気は回復とあったので5時25分小雨の中を登山開始。10分程はなだらかな道が続いたが突然急登が始まった。あまり厳しい山ではないというイメージがあったがさすがに百名山、簡単には登らせてくれない。雨に濡れ滑りやすい樹林帯、梯子階段、岩稜登り、沢渡りなど多彩な道が続く。途中振り返ると雲海が山々の下に広がり遠くに妙高の特徴あるピークが見え、山の斜面は赤黄緑の色が織りなすように美しい紅葉、雨上がりの雨飾山の美しさが急登の疲れをひと時忘れさせてくれた。急登が終わると景色は一変、笹で覆われたなだらかな稜線でほっと一息、しかしやはり雨飾山は許してくれなかった。急に目の前に雨飾山のピークが立ちはだかり再び急登を登り終えると標高1963mの雨飾山山頂に到着。山頂はガスに覆われたり晴れたりを繰り返していたが期待していたアルプスの山々はほとんど見えなかった。下りは紅葉や近くの山並みを楽しみながらゆっくりと滑らない様慎重に下山した。

10月10日（日）帰りは大町、安曇野経由で帰る。鹿島槍の頂きを車から眺めながら下山し途中大町温泉郷の薬師の湯ですっきりし大町山岳博物館に寄ってから長野道中央道名神を経て18時30分川西池田駅で解散。



小雨の中を出発



樹林帯の急登を進む



見上げると緑と紅葉が美しい



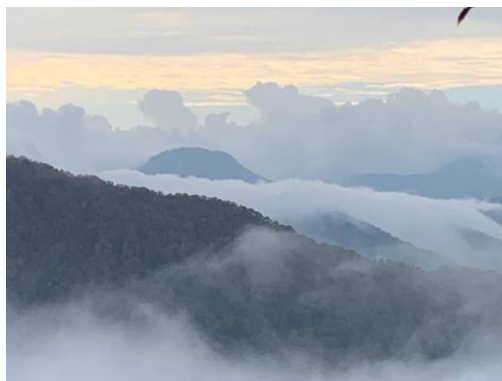
渡渉があり



梯子があり



岩稜登りも



振り返ると遠くに妙高が頭を出していた



雲海・紅葉が美しい



急登を登り終える



今までと打って変わった平和な風景



ほっと一息



雨飾山山頂に登頂



雨飾山西峰でも記念撮影



ゆっくりと紅葉を楽しみながら下山



山腹の紅葉が美しい



この時期は緑と紅のコントラスト



ブナの林で休憩

Before & After 登山



親不知・子不知



梶海新道登山口



雨飾高原キャンプ場



1 日目は BBQ



2 日目は鍋



無事下山して乾杯



大町温泉郷の薬師の湯



大町山岳博物館



信濃大町駅前の蕎麦処こばやし
で名物「塩の道蕎麦」

雨飾山山行ルート図

